ヒアリングフレイル予防推進計画
with
傾聴ボランティア 就労支援モデル

NPO法人 アイアム就労支援

２. ヒアリングフレイル予防

・NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会様
・ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社様

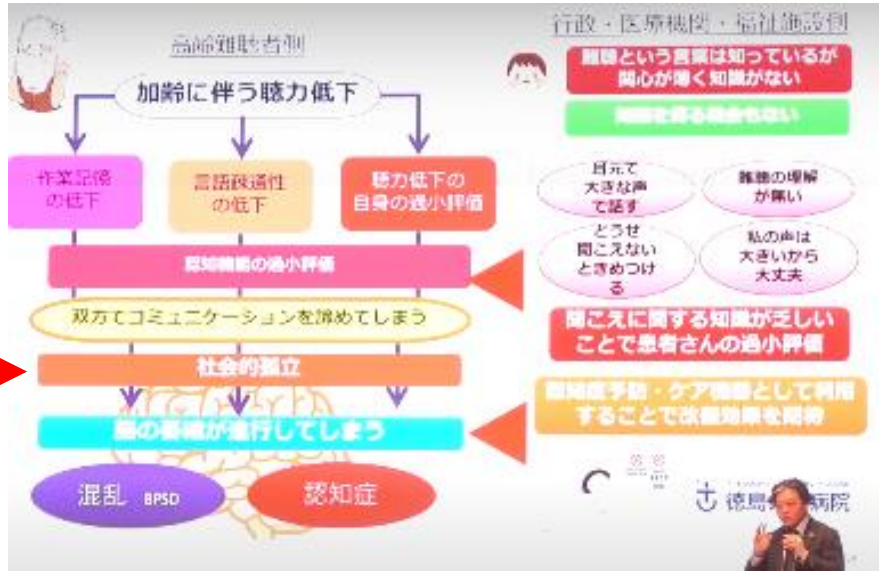
こんな症状があったら、ヒアリングフレイルかも…

大好きだったテレビを
急にみなくなった

部屋に引きこもることが
多くなった

以前に比べ
会話が難しくなった

社会的孤立！！



ヒアリングフレイルとは？

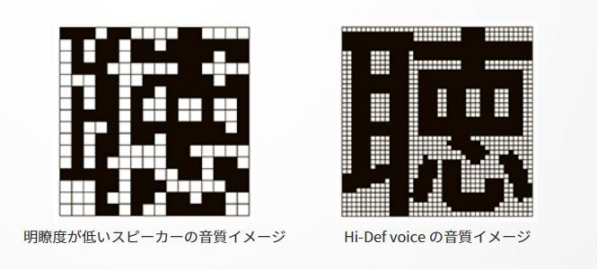
NPO法人 アイアム就労支援

ヒアリングフレイルとは、耳の虚弱(聞き取る機能の衰え)という意味です。放置すると心身の活力の衰えが進み、認知症やうつ状態となるリスクが高まることが、研究でわかっています。

問題：超高齢化社会による難聴者増加、ヘッドフォンによる騒音性難聴やストレスによる突発性難聴など、難聴に悩む方は増加する一方で、目に見えず気づきづらい“聴こえ”への理解や取り組みは多くの課題を抱えています。

医師と患者間で起こるコミュニケーションギャップや、高齢の方が難聴であることで認知症と誤認されるケースなど、特に医療機関や介護施設での“聴こえ”の問題は深刻です。

解決法：音を大きくするのではなく『明瞭度』をあげることによって、声が聞き取りやすくなり、認知症やうつ症状になったり社会から取り残されるリスクが軽減されます。



『聴覚機能の低下による認知症誤認のケース』
短編映画「気づかなくてごめんね」

https://youtu.be/8HgX4xeJLLk

声が聴き取り難い方が、これから爆増していきます！

2025年問題＆ 2030年問題 （記事紹介）

「2025年問題」とは、戦後すぐの第一次ベビーブーム（1947年～1949年）の時に生まれた、いわゆる"団塊の世代"が後期高齢者（75歳）の年齢に達し、医療や介護などの社会保障費の急増が懸念される問題を指します。2025年には後期高齢者人口が約2,200万人に膨れ上がり、国民の4人に1人が75歳以上になる計算です。
https://www.sagasix.jp/column/care/2025/

2030年の労働市場の未来推計をみてみると、労働需要が7073万人なのに対し、労働供給は6429万人と、2030年時点で644万人の人手不足が生じると予測されている。
すでに、女性への就労支援、シニアに向けた定年延長、外国人就労のための制度改正など、官民ともに対策に取り組んでいるが、これらの対策を打ったとしても、644万人の人出不足の半分程度しか確保できないと言われている。今、デジタル変革による生産性向上が期待されているのは、この不足する労働力を埋めるためなのだ。
https://forbesjapan.com/articles/detail/38331/1/1/1

★しっかりと支援してコミュニケーションをとることができていれば、認知はすすみにくい ことが判明！

前臨症期 → ヒアリングフレイル期 → 軽度認知障害(MCI) → 認知症

と進ませない為にも
ユニバーサルサウンドデザイン様と一緒に
『ヒアリングフレイル予防』を推進していきます。

ユニバーサルサウンドデザイン株式会社様の活動

日本各地で、
聴こえのセミナーを開催

中石自らが日本全国を駆け回り、教育機関や自治体、障害者支援施設、企業を対象にセミナーを開催。聴こえの大切さを伝えるための講演活動を行っています。

NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会様の取り組み

ヒアリングハラスメントゼロ推進委員会の発足

JUSDAは医療・介護従事者の方への
聞こえに関しての適切な情報提供のために
「ヒアリングハラスメント・ゼロ推進委員会」を設け
「難聴の高齢者の過小評価の防止」を進めてまいります。

きこえのあしながさんプロジェクト

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社と協力し
全国の小・中学校など難聴の生徒が学ぶ学校を対象として
コミュニケーション・サポートシステム「COMUOON」
（コミューン）の寄贈を行い教育環境の
ユニバーサルデザインを推進しています。

ユニバーサルコンサートプロジェクト

コンサート会場やイベント会場において、難聴の方でも
楽しめるような音響環境の整備をアーティストや主催者に
お願いしています。
※ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の製品の
無償貸与も行っております。

『ヒアリングフレイル予防』の啓蒙活動
（対象：難聴、高齢者、支援学校、他）
＋
『傾聴ボランティア』での社会復帰を目指した就労支援
（対象：一人親、産休中や介護休暇中の方々、新型コロナウイルスが原因で職場から弾き出されてしまった方々、ひきこもり、等、さまざまな理由により働くことが出来ていない方々）

それぞれの生きがいと、パンデミック＆災害に備えた体制創りを目指していきます。

話し相手・面談

◆ 福祉施設や老人ホームにおいて、ボランティアに期待される役割のひとつが【傾聴（お話し相手）】です。

施設からのレクリエーションの要望例：

<個別対応>
傾聴（お話し相手）、囲碁、将棋の相手、新聞や本の朗読

<複数人向け>
歌や楽器演奏、演芸、マジックショー

話し相手・面談

ボランティアの一例

■ 外来ボランティア

● 活動内容

・受診受付手続きや、再来受付機、自動支払機のサポート

・車いすやストレッチャーの移動介助、タクシーの乗降りの介助

・受診中の幼児の子守

・患者さんの話し相手

・院内各場所への案内

・院内美化

当院について＞取り組み・実績＞ボランティア　｜　埼玉県済生会川口総合病院

ボランティアグループ　なでしこ （済生会湘南平塚病院）	・済生会平塚病院1階活け花の手入れ ・フロア案内 ・患者さん、利用者さん向けの生活用品や季節カード作り等 ・湘南苑利用者の整容、水分補給 ・レクリエーション補助等　・傾聴	・済生会湘南平塚病院 ・済生会湘南苑 （介護老人保健施設）

ボランティアグループ　なでしこ 済生会湘南平塚病院

話し相手・面談

ボランティアの一例

ボランティア募集

お気軽に参加してみませんか。
個人やグループでの参加もお待ちしています。
なにかやりたいと思っている方
あなたに合う活動内容がきっと見つかると思います。
ご自分の出来ることからスタートしてみませんか。
ボランティアの内容
・入居者とのふれあい （お話し相手など）
・演芸訪問 （楽器演奏、歌、かたりべなど）

[とちの木ボランティアセンター | 栃木県済生会高齢者ケアセンター]

当院は，「患者中心の医療」「安全で質の高い医療」「地域に開かれた病院」を基本理念とし，患者さんから信頼される病院を目指しています。
病院には毎日，多くの患者さんが訪れ，また，治療のために入院されています。そのような患者さんに対し，私たちはより良いサービスを提供していきたいと考え，日々実践しています。病院では，院内の案内，患者さんのお話し相手など医療の専門職だけでなく，資格のない方でもできることがたくさんあります。是非，常陸大宮済生会病院で，来院される方が快適に過ごしていただけるお手伝いを，私たち医療職と一緒に行っていただける地域の方を募集しています。

そこで，今回，当院で院内デイケアを開始するにあたり，院内デイケアのボランティアの方の募集を行います。

[院内デイケアボランティアの募集について | お知らせ | 常陸大宮済生会病院]

話し相手・面談

ボランティアの一例

ボランティア活動内容

- 患者さんの身の回りの世話…洗濯、食事の介助、散歩の付き添い、話し相手
- 患者さんの案内…外来患者、病棟の入院患者の診療や検査場所への案内
- 患者さんの送迎…自宅と病院間の自家用車での送迎
- 病院環境の整備…院内各所の整備、備品・物品等の整理
- その他

ボランティア会員募集 | 石川県済生会金沢病院

▪ 傾聴ボランティア ASK

人は語ることによって心が軽くなり、浄化されるといいます。そのためには、ひたすら話を聴く相手が必要です。当院では、平成17年より、傾聴ボランティア活動をしています。傾聴ボランティアは、ご希望の方の所へ伺い、日常の身近なお話から生きることの意味、深い心の叫びや悩みなど様々なお話をお聴きします。傾聴ボランティアは特別な研修を受けており、また話の内容は守秘されて病院関係者にも伝わりません。
対象は、当院に入院中又は通院中の患者さん及びその家族です。また、死別された家族へのグリーフケアも行っています。
毎週木曜日の午後に実施しています。ご希望の方は、遠慮なくお近くの看護師へお申し出ください。

その他の活動 | 済生会京都府病院

話し相手・面談

NPO法人 アイアム就労支援

ボランティアの一例

お茶出し・お話し相手

利用者の皆様にお茶だしをしていただいたり、お話し相手ををしていただきます。

ボランティア募集 - 社会福祉法人恩賜財団済生会 長和園

ボランティアの内容

○入居者とのふれあい（お話し相手など）

○演芸（楽器演奏・歌・踊りなど）

○園芸・清掃

○縫い物・洗濯物たたみ

○趣味活動の支援・手伝い（囲碁・将棋・詩吟・書道・フラワーアレンジメントなど）

○イベント（運動会・盆踊り・もちつきなど）

明和苑の取り組み 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部三重県済生会 明和苑

話し相手・面談

ボランティアの一例

主なボランティアの内容	お話し相手、レクリエーション参加、姫原夏祭り準備等
活動地域	松山市
活動分野	高齢者福祉
イベントボランティアの内容	姫原夏祭りなど

済生会姫原特別養護老人ホーム - 愛媛ボランティアネット

◇傾聴

病棟での患者様のお話し相手

散歩介助（車椅子を含む）　など

病院ボランティア - 社会福祉法人 恩賜財団 済生会今治病院

話し相手・面談

ボランティアの一例

ボランティア活動内容

活動場所	外　来	整形外科病棟	情報コーナー	通　訳	緩和ケア病棟
主な活動	●場所案内 ●受診の手続き ●移動介助・車椅子など	●移動介助・車椅子など ●話し相手	●図書の整理 ●ご利用案内など	●外国からの患者さんや研修生の支援	●お茶・お花のサービス 園芸、手芸、絵手紙 行事の企画・運営など

岡山済生会総合病院ボランティア募集中

○ お話し、ゲーム補助、囲碁や将棋のお相手等

ゲーム等を通して遊びながら利用者さんとお話しをしてみませんか。
レクリエーションのお手伝いも大歓迎です。
（日時、場所はご相談に応じます）

ボランティア募集｜済生会山口地域ケアセンター

話し相手・面談

NEWS & TOPICS
ニュース アンド トピックス

＊ボランティアさん活躍中

＊プロフィール

お名前：岡元　紗弥
年　齢：22歳
職　業：学生（鹿児島純心女子大学）

＊当院での、ボランティア活動の内容は？

主に、患者様のお話し相手や車椅子でのお散歩、食事介助を中心にさせていただきました。

＊ボランティアをしようと思われた動機は？

私自身管理栄養士を目指しておりまして、将来的には病院に就職したいという希望がありました。そこで、少しでも患者様からの視点で病院というものを見る機会が欲しいということから応募させていただきました。おかげさまで実習等では気づくことのできなかった点に気づくことができ、また様々な体験をさせていただくことができました。

＊実際に活動をされてどの様な感想を持たれましたか。

私自身も毎週患者様にお会いすることがとても楽しみでした。私が担当させていただいたのは療養病棟ということで、長期入院されている方ばかりの病棟でした。長期入院されている方にとっては病という不安を抱えながらの病院生活ですし、医療従事者の方々は多くの仕事を抱えていらっしゃいますので、ボランティアのお話し相手一つでも重要な仕事の一つであるのだと感じさせられました。

＊ボランティア活動をされるに当たって、当院へのご希望・改善点がありましたら、教えて下さい。

ボランティア活動をするのは初めてでしたので、ボランティアとしてどこからどこまでができるのかが分からない不安な面がありました。分からないことばかりですので、させていただけることはどんどん指示していただけたらと思います。

SAISEI KAGOSHIMA

ステップ１ ：施設やイベントにて実施

NPO法人 アイアム就労支援

① アプリ『みんなの聴脳力チェック』を活用していきます

「みんなの聴脳力®チェック」とは

言語の認識状態を可視化し、総合的に「聴きとる脳力」チェックが可能な
語音知覚能力チェックアプリです。

無料でご利用できます

簡単な申し込みで すぐに利用可能！

シンプルで、誰でも簡単に使いやすいアプリ

「みんなの聴脳力®チェック」とは

ステップ1 ：施設やイベントにて実施

NPO法人 アイアム就労支援

「みんなの聴脳力®チェック」の主な機能

音声で流れる単音の言葉をクイズ形式で答える5分程度のゲームアプリです。
※2021年1月現在、Androidのみの対応となっております。ご了承ください。

①簡単に語音聴取脳力がチェックできる アプリとBluetoothスピーカーを接続することで簡単に語音聴取脳力がチェックできる

②母音と子音の語音聴取率もその場で素早く表示 語音の聴取率で重要な子音と母音の聴取率もすぐわかるので的確な情報が取得可能

③過去の語音聴取率も保存可能 過去の語音聴取率が保存できこれまでの聴脳力の推移がチェックできる

このアプリを使い、まずは自分の点数を把握することで

・聞き取れていない部分があるということ
・どれだけ聞き取れていないか

を知ってもらいます

言葉の認識状態を可視化する語音聴取チェックアプリ「みんなの聴脳力®チェック」

ステップ２：施設やイベントにて実施

② 傾聴ボランティアの協力のもと、
聞かせるトレーニングを継続しておこなっていきます

（傾聴ボランティア団体とコラボ）

フレイルの方々　➡　聴力が悪いままだと、自立できなくなってきます。
傾聴ボランティアの方々との意思疎通・会話を通して、希望と喜びを受け取ることができるようにしていきます。

傾聴ボランティアの方々　➡　無償ボランティアから有償ボランティアへ。
お金を稼ぐ機会を得るだけでなく、社会に貢献し、相手に喜んでいただく体験をしていただきます。

施設にとってのメリット

看護師や介護士が人手不足で忙しい中、正しいコミュニケーション（患者様・利用者様一人一人に対し、目をみて向かい合う、口を大きくひらき、ゆっくりと話す）を毎回行っている余裕が無いのが実情です。そういった基本を知らない方々も多くいますので、まずは啓蒙活動が重要です。

理解不足、人手不足、環境不足、会話不足、自己承認不足…

そういたものを解決していくために、今回は「傾聴ボランティア」が大きな役割を担ってくることになります。

施設にとって、ボランティアを受け入れる事が仕事の大幅な効率化へとつながっていくようになります。「無償から有償に変えてでもボランティアの方々に来て頂きたい」と認識していただくことで、新しい就労支援の形が確立されることでしょう。

また、有償へと切り替わることでボランティアの質もあがっていき、2025年問題、2030年問題への解決にもつながっていく、革新的で、チャレンジングな取り組みとなっております。

NPO法人 アイアム就労支援